

みたけ学園で はたらくん



最初は介護福祉士を目指していた千葉将太さん。今は、児童指導員として子どもたちの生活を一番に考え、仕事を心から楽しんでいる印象を受けるインタビューとなりました。

◆学生時代について

Q 大学では何を学びましたか

A 介護福祉士過程の勉強をしていました。将来は高齢者向けの施設に就職しようと思っていました。

Q サークル活動は何かしていましたか

A 子どもと遊ぶことが好きなので、子ども達と関わる活動をしていました。

千葉 将太さん

- ・東北福祉大学卒業
- ・平成二六年度採用
- ・みたけ学園
かえで寮
- ・児童指導員

◆福祉施設を志望した理由

Q 福祉施設で働きたいと思ったきっかけを教えてください

A 岩手県内で働きたいと考え、大学に届いた求人を探していたところ、親戚の子どもが通う施設を見つけた。そこで「何か縁がある」と思い、当事業団への入職を志しました。

◆お仕事で心掛けていること

Q 利用者さんへ支援をする際に心掛けていることはありますか

A 利用者さんの訴えや思いを認めることを一番大事にしています。自分の思いを表現できず、暴力等で表現してしまう子ども達もいるので、注意するだけではなく、会話の中から本音を聞きだしてあげることが大切であると思います。子どもの意見を受け入れた上でアドバイスをすることを日々心掛けています。

支援者が支えるだけではなく

支え合うことが大事

◆やりがい・働いていてよかったと思う瞬間

Q 今の職場で働いていて良かったと思うことを教えてください

A 児童支援をしているからこそ、身体的成長はもちろんですが、いままで出来なかったことが出来るようになった時に精神的成長も見られ、自分たちの声掛けや支援によって子ども達が成長している姿を感じ、働いていて良かったと感じますね。

◆どのような支援者になりたいのか

Q 今後、どのような支援をしていきたいですか

A 障がいについての理解や自分の知識などを施設の中だけではなく、地域に発信していきたいと考えています。障がいがある方への接し方を地域の方々にも理解してもらい、障がいの有無に関わらず、地域で認め合って過ごしていけるような環境づくりをしたいと思っていますね。

◆福祉業界を目指している学生へ一言

Q 福祉の仕事の魅力を教えてください

A 福祉の仕事と聞いていい印象を持つ人は少ないですが、就職することによって価値観が変わってくると思います。障がいがあるから他の人より出来ない事が多いのではなく、障がいがあるのに色々なことが出来る”と考えるようになると支援する際に楽しくなりますよ。

Q どのような人にお仕事は向いていますか

A このお仕事をしていると考え方や物事の見方など広がるので見聞を広げたい人におすすめですね。みなさんとお仕事するのが楽しみです。

福祉に対する印象

<大学時代>

体が不自由な方の手助けをするという印象が強くなりました。

<入職後>

障がいの分野で働いた時に子ども一人一人の良さに救われる部分もあり、共に支えあうことが大事。

番外編

休日の過ごし方

- ・ドライブ
- ・旅行（大学時代の知人に会いに行く）

